

鳥インフルエンザのシーズンは、 まだ終わっていません。ご注意ください。



JACCNET

3月に入り、全国的に気温も上がってまいりましたが、鳥インフルエンザのシーズンは、まだ続いております。

3/12には、広島で全国10件目の発生も確認されました。また、1月以降、**カラスの陽性報告が増加**しており、農場敷地内にカラスを寄せ付けないことが、重要と考えられます。

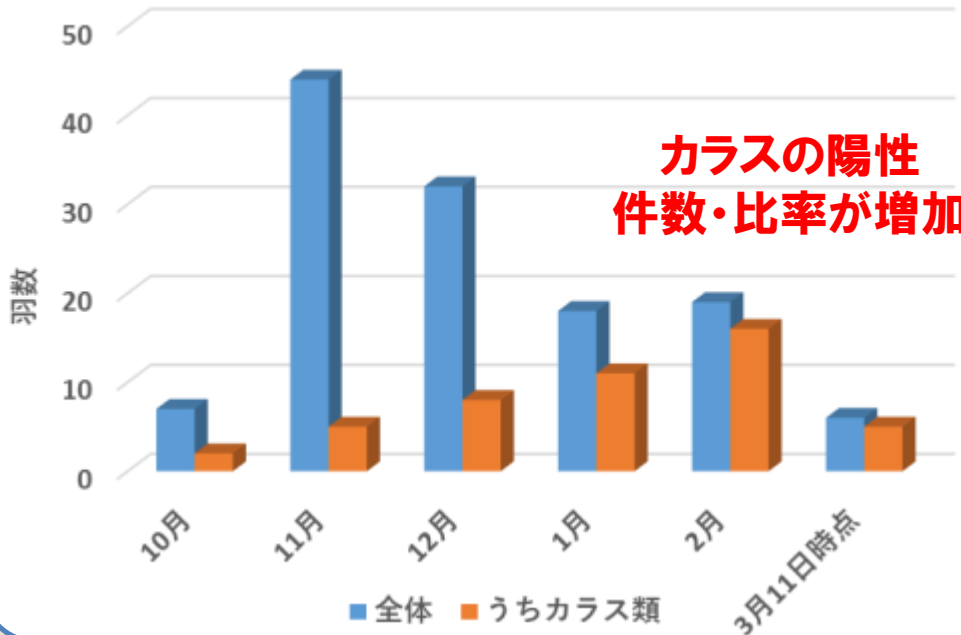
日本全国で継続発生中



発生県	発生日	解除日*
①佐賀	11/25	12/20
②茨城	11/27	12/22
③埼玉	11/30	12/24
④鹿児島	12/ 3	12/26
⑤群馬	1/1	1/31
⑥岐阜	1/5	1/29
⑦山口	1/27	2/18
⑧香川	2/6	3/2
⑨鹿児島	2/11	3/5
⑩広島	3/12	未定

*移動制限区域解除日

野鳥での発生状況(環境試料含む)



**カラスの陽性
件数・比率が増加**



鶏舎は家畜防疫の**最後の砦**、 防疫の徹底強化でウイルスの侵入を防ぎましょう

病原体を入れない

1. 人、車両は立ち入りを規制する
2. 農場内に入れる時は必ず消毒する
3. 農場の入場記録をとる
4. 立ち入り禁止の看板を設置する
5. 畜舎の周囲に防鳥ネットを張る
6. 飲水は飲用に適したものにする
川水などを使う場合は必ず消毒する

病原体を拡げない

1. 畜舎毎に専用の長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日、鶏の健康観察と記録をおこなう
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除する

病原体を持ち出さない

1. 農場内から出る際にも消毒する
2. 農場内で使用した物は持ち出さない
3. 車両の消毒はタイヤ回り、足回りを
重点的に行う

鶏舎に入る際は、スノコを使って 交差汚染を防ぎましょう



農場での防疫対策の参考資料



JACC ネット

JA全農が提供する畜産総合情報サイト



動画版「防疫管理の基礎知識」



ポイントを
動画で解説

漫画版「飼養衛生管理基準 ガイドブック」



漫画で
解説

中央畜産会、農水省、JA全農等で作成

全農

全農畜産生産部